

# 2023 Interim Business Report

第22期中間ビジネスレポート

2022年4月1日 > 2022年9月30日



## 上半期はゲーム事業の好調により 各利益が過去最高となりました。 下半期においても安定的な収益の維持に努めるほか、 積極的な投資を促進して参ります。

当社グループは、「with entertainment～期待を超える」を存在意義として掲げており、人々の期待を超えるサービスを生み続けていくことを目指しております。また、今までになかった価値を創造し、ユーザーを魅了する体験を届けていくことに努めております。中期的には、IPを軸に、多様なデジタル・エンターテインメント・コンテンツをグローバルに提供する総合エンターテインメント企業となっていくことを掲げており、持続的成長及び企業価値向上を目指しております。

主力のゲーム事業においては、ゲームの開発・運営が主要事業となっており、他社IPゲーム及びゲームプラットフォーム並びにオリジナルゲームの開発・運営を行っております。また、メディア事業においては、次世代の主力事業創出を目的とした事業開発を行っており、当社の有するインターネット



代表取締役社長 内藤裕紀

サービスの知見を活かした新規サービスを試験的に立ち上げ、事業化に向けた試行を重ねております。

当第2四半期連結累計期間においては、売上高5,800百万円（前年同期比11.9%増）、営業利益1,607百万円（同66.2%増）、経常利益1,547百万円（同64.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,056百万円（同72.6%増）となり、各利益は、過去最高となりました。各セグメントの業績は以下の通りです。

### ゲーム事業

当期においては、8周年を迎えた当社主力タイトルの1本であるIPゲームタイトルがIPの盛り上がりにより牽引されグローバルで好調に推移し、収益に貢献いたしました。

売上高につきましては、当社主力IPタイトルがグローバルで好調に推移したことに加え、昨年度に新規タイトルをリリースしたこと等により、前年同期比で増加いたしました。

利益につきましては、主力タイトルの増収影響に加え、一部の不採算タイトルをクローズしたこと等により、前年同期比で増加いたしました。

以上の結果、セグメント売上高は5,670百万円（前年同期比10.8%増）、セグメント利益は1,809百万円（同62.9%増）となりました。

主力事業である当セグメントにおいては、引き続き運用中タイトルの安定的な収益の維持に努めるほか、開発中の複数の新規タイトルのヒットによる売上、利益の増大を目指して参ります。



## メディア事業

当期においては、Twitterを活用したファンコミュニティ促進サービス『Rooot』が順調に事業規模を拡大し、収益に貢献いたしました。また、IPの開発・獲得、育成、収益化チャンネルの多様化に注力するため、出版・映像事業というゲーム以外のエンターテインメント領域での新規事業に注力いたしました。また、Web3領域における新たな事業開発にも注力しております。

売上高につきましては、『Rooot』が順調にサービスを拡大しており、前年同期比で増加いたしました。

利益につきましては、業績拡大への大きなチャンスと捉え積極的に新規事業領域への投資を行っており費用先行が継続しているため、損失額は前年同期比で増加いたしました。

以上の結果、セグメント売上高は130百万円（前年同期比98.7%増）、セグメント損失は201百万円（前年同期はセグメント損失143百万円）となりました。

当セグメントにおいては、中長期的な事業成長を目指し、積極的な投資を促進して参ります。

## 今後の見通し

中長期的な方針としては、主力のゲーム事業において一層の採算性向上に取り組むほか、新規タイトルのリリースによる売上成長を目指して参ります。また、積極的な投資を行い、ゲーム以外のエンターテインメント領域での事業開発に注力することで、IPを軸に、多様なデジタル・エンターテインメント・コンテンツをグローバルに提供する総合エンターテインメント企業となることを目指して参ります。

2023年3月期下期におきましては、ゲーム事業において既存の運用中タイトルからの収益貢献と、下期からの新規リリースタイトルの着実なヒットによる業績拡大を目指しております。新規事業につきましては、引き続きファンコミュニティ促進サービス『Rooot』の事業拡大を目指して参ります。また、出版・映像事業におけるIP創出、Web3領域に積極的に投資を進めて参ります。

上記を踏まえて、2023年3月期の連結業績見通しにつきましては、売上高13,000百万円、営業利益2,000百万円、経常利益1,900百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,200百万円を見込んでおります。

京都大学の学生だった私が2001年に設立した当社は、2022年11月で創業21年を迎えました。創業当時の主力事業であったブログサービスから、現在の主力事業であるゲーム事業まで、時流の変化にあわせて提供するサービスは大きく変化してきましたが、どのサービス・事業も創業以来の当社のアイデンティティである「with entertainment～期待を超える」を体現した「ドリコムらしさ」の溢れるサービスであったと自負しております。

新たな技術の応用、普及が進み、世界が一層劇的な変化を遂げるこれからの時代において、引き続き「with entertainment～期待を超える」の精神を大切に、世の中の変化を担い、世の中に驚きと喜び、そして幸せを届けるサービス・事業の創出に向けて邁進して参ります。今後とも一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## IP開発・獲得・育成に向け各事業が順調に進捗



▲スマートフォン向け協力・対戦アクションゲーム『GGGGG』次世代通信規格「5G」がサービス開始となる中、モバイル端末における新しい体験を追求した実験的なタイトル。Web3領域への本格参入を発表後、NFT機能も実装。



▲スマートフォン向け3DダンジョンRPG『Wizardry Variants Daphne』人気IPの著作権・商標権を獲得し、コントロール可能な自社IPとした上でオリジナルタイトルを開発する取り組み。

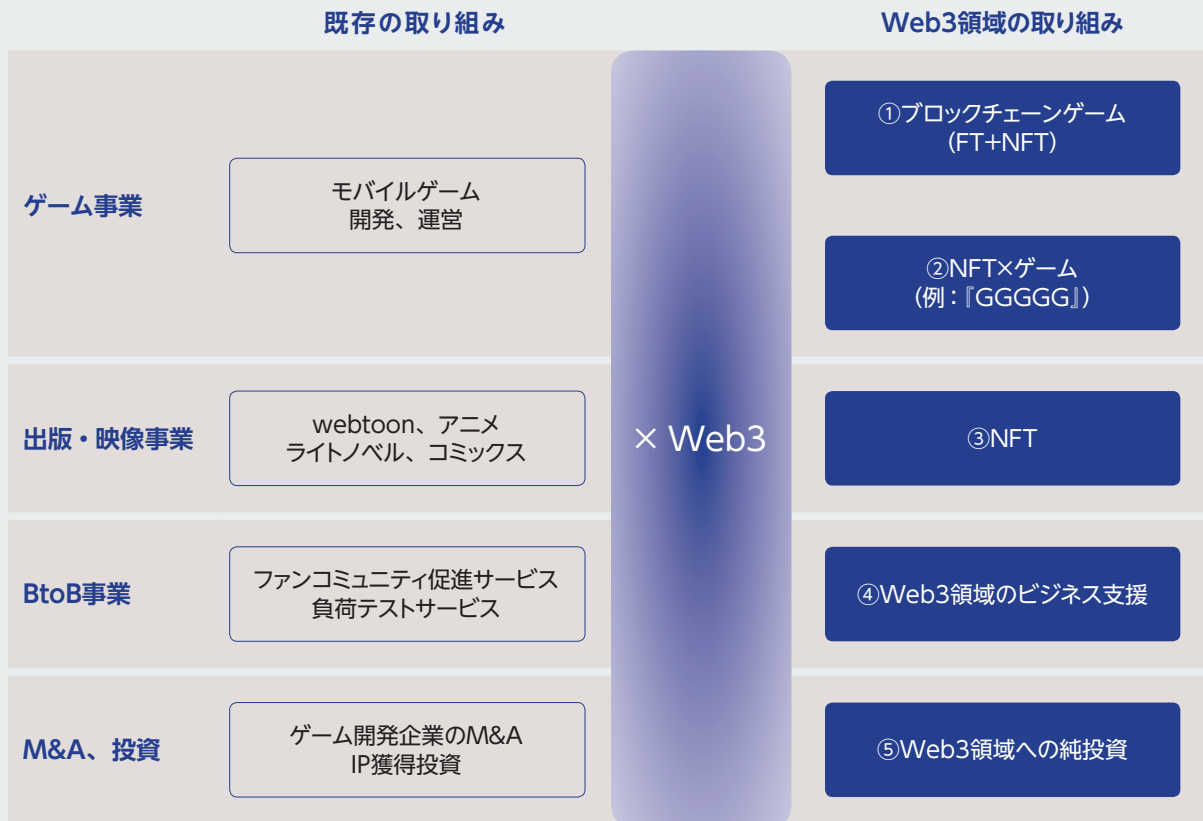
ゲーム事業においては、下期にリリース予定の自社配信オリジナルタイトル2作品『GGGGG』と『Wizardry Variants Daphne』の発表を行いました。

また、出版・映像事業においては、10月より、ライトノベルレーベル「DREノベルス」が創刊するなど、順調に事業が進捗いたしました。



▲2022年10月7日「DREノベルス」創刊  
ライトノベルレーベル「DREノベルス」創刊。毎月10日頃刊行。  
年内刊行の9作品はすべてコミカライズ決定。

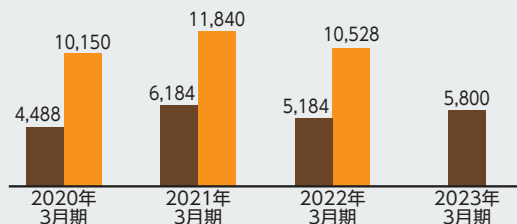
Web3領域は既存事業と親和性の高い分野において5つの取り組みを開始。エンタメ×Web3により成長戦略の推進を目指す



# 連結財務ハイライト (第2四半期累計)

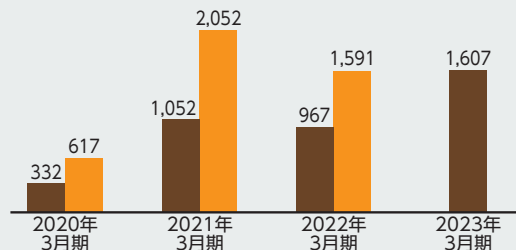
## 売上高

(単位：百万円) ■ 中間 ■ 通期



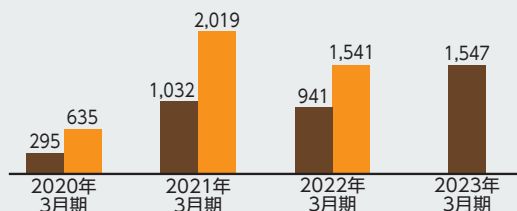
## 営業利益

(単位：百万円) ■ 中間 ■ 通期



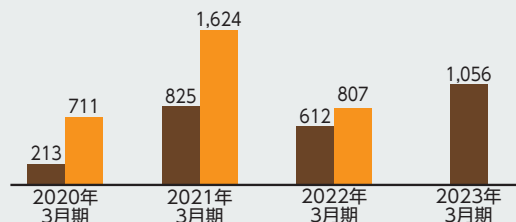
## 経常利益

(単位：百万円) ■ 中間 ■ 通期



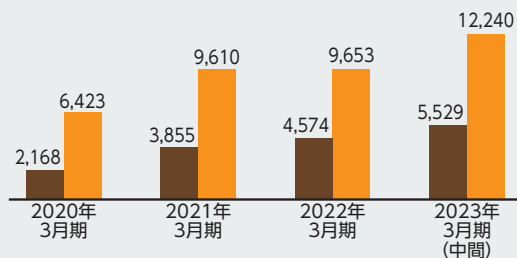
## 親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円) ■ 中間 ■ 通期



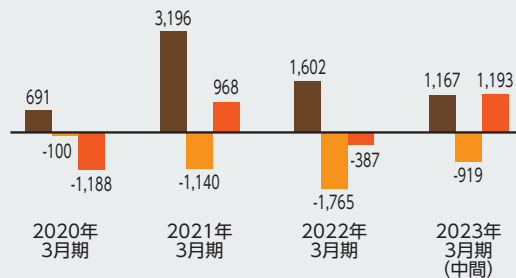
## 総資産・純資産

(単位：百万円) ■ 純資産 ■ 総資産



## 営業CF・投資CF・財務CF

(単位：百万円) ■ 営業CF ■ 投資CF ■ 財務CF



## 会社情報 / 株式情報 (2022年9月30日現在)

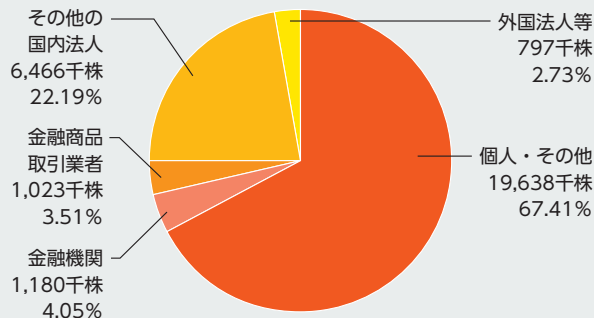
### 会社概要

商号 株式会社ドリコム  
 本社所在地 〒141-6019  
 東京都品川区大崎2丁目1番1号  
 ThinkPark Tower 19階  
 設立 2001年11月13日  
 資本金 1,811百万円  
 代表取締役社長 内藤裕紀  
 従業員数 386名 (連結)  
 主な事業内容 ゲーム事業、メディア事業  
 連結子会社 株式会社ドリアップ  
 株式会社スタジオレックス  
 株式会社BlasTrain

### 株式の状況

発行可能株式総数 80,000,000株  
 発行済株式の総数 29,129,591株  
 株主数 8,786名

#### 所有者別株式数



### 役員

代表取締役社長	内藤裕紀
取締役	後藤英紀
取締役 監査等委員 (常勤)	青木理恵
取締役 監査等委員	村田雅夫
取締役 監査等委員	清水勝彦

(注) 青木理恵氏、村田雅夫氏、清水勝彦氏は社外取締役であります。

### 大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
内藤裕紀	9,930,000	34.11
株式会社バンダイナムコホールディングス	5,532,000	19.00
山口憲一	649,200	2.23
株式会社SBI証券	646,414	2.22
東京短資株式会社	614,800	2.11
株式会社日本カストディ銀行 (信託E口)	595,800	2.04
日本証券金融株式会社	562,300	1.93
池原諒平	340,700	1.17
株式会社モバテック	250,000	0.85
UBS AG LONDON A/C IPB SEGREGATED CLIENT ACCOUNT	215,500	0.74

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月開催  
基準日 定時株主総会 毎年3月31日  
期末配当金 毎年3月31日  
中間配当金 毎年9月30日  
そのほか必要があるときは、あらかじめ  
公告して定めた日

**【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】**  
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人及び  
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人  
事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
(郵便物送付先) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
☎0120-782-031  
(受付時間 土・日・祝日・年末年始を除く9:00~17:00)  
(インターネットホームページURL)  
<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

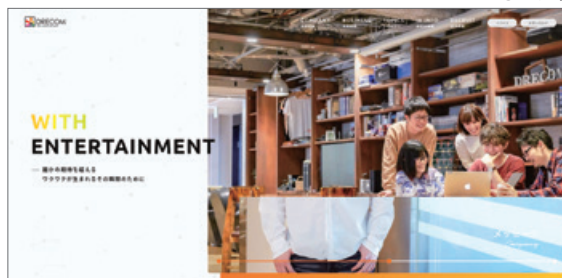
公告の方法 当社のホームページに掲載する。  
<https://drecom.co.jp/ir/kessan/>  
上場証券取引所 東証グロース

## ホームページのご案内

当社webサイトでは、最新ニュースや様々な情報を発信しておりますので、ぜひご覧ください。

<https://drecom.co.jp/>

TOPページ



<https://drecom.co.jp/ir/>

IRページ

